

JO NAPOT!

ヨー・ナポット! No. 50

Gifu - Hungary Friendship Association

Minokamo-city, Ota-cho 3431-1, 505-0041

TEL : 0574-28-1600 FAX : 0574-25-3917

HP: <http://www.gifu-hungary-fa.com/index.html>

2011. 9発行

爽涼の候となり、ようやく猛暑から逃れることができるようになりました。今夏は、東日本大震災のこともあり、特別の思いで過ごされた方も多いと思います。被災地では、ようやく復旧の槌音が聞こえるようになりましたが、豪雨や猛暑がつづき辛苦の思いをされています。一刻も早い復興を望みたいものです。

1. 東日本大震災復興支援コンサート 5月、7月シリーズ無事終了。秋の企画を準備中。

今回の大震災に対し、当協会音楽部門の「日本・リスト音楽院楽友会」では、5月から「東日本大震災復興支援コンサート」を始め、7月から本格的な活動をスタートしました。これまでに、5月に3会場（岐阜・恵那・岡山）、7月に4会場（東京・恵那・関・美濃加茂）で開催し、募金箱には現段階で99,840円の善意の募金が集まりました。

これらのコンサートは、国際ソロプチミストを始めとした奉仕団体や文化団体、そして行政のご協力をいただいたことから開催することができました。関係各位にお礼を申し上げます。復興支援コンサートは、最後となる企画を準備中です。義援金は、そのコンサート終了を待って日本赤十字社に送り、復興基金として役立てていただきたいと考えています。会員各位におかれては、残ったコンサートについても引き続きご支援をお願いします。

○5月シリーズは、「リストにふれた音楽家たち」～届け！チェロ・オンツァイ教授と仲間たちの思い～として、5月12日（木）サラマンカホール（岐阜市）で、オンツァイ・チャバ教授が出演しピアニストの原田綾子さん（修了生）と五島史誉さん（ファルヴァイ教授に師事）の2人が共演をしました。また5月13日（金）には、恵那市の介護老人福祉施設こころ内「ハートホール」で、ピアニストの松井静江さん（修了生）と服部加奈さん（楽友会員）のいずれも地元の2人が共演をしました。さらに5月15日（日）には、岡山県立美術館ホールでピアニストの野中有子さん（留学生）が共演し、地元でのプロデビューを果たしました。コンサートはどの会場も好評で、原田さんと五島さんはその実力ぶりから人気を高め、松井さんと服部さんは地元での注目を集め、野中さんは岡山県になくてもならないピアニストと評価を受けていました。

○7月シリーズでは、「リストにふれた音楽家たち」～届け！ヴァイオリニスト・サバディ・ヴィルモシュと仲間たちの思い～として7月22日（金）新宿文化センター小ホールで、サバディ・ヴィルモシュ准教授の出演を始め、帰国直後のヴァイオリニスト森垣

静香さん（修了生）とピアニストの岩崎由佳さん（留学生）の2人が共演をしました。このコンサートは森垣さんの帰国記念コンサートとも言えます。ステージで魅せたサバディ准教授とのデュオなど堂々たる演奏は、大きな成長を伺わせていました。

下旬からは「リスト音楽院マスターコンサート」～届け！リスト音楽院マスタートリオと仲間たちの想い～としてファルヴァイ、オンツァイ、サバディ3教授と修了生達のコンサートを開催しました。皮切りは7月26日（火）恵那文化センターでした。共演は、ピアニストの澤田みづえさんと松井静江さんの2人。続いて7月28日（木）関市



（関会場リハーサルの様子）

また、7月29日（金）美濃加茂市文化会館では、ヴァイオリニストの大迫綾香さん（今夏帰国）、ピアニストの和田さやかさん、岩崎由佳さんの3人が共演をしました。大迫さんは、岐阜でのプロデビューでした。また、教授達のコンサート前に地元的美濃加茂少年少女合唱団が参加をし、清らかな歌声を披露してくれました。



（美濃加茂会場の出演者の皆さん）



（美濃加茂少年少女合唱団による合唱）

授と共演した曲＜ポッパー：チェロ3本とピアノのためのレクイエム＞でファーストとセカンドパートを任せられ、見事にその重責を果たしたことで留学中の努力が読み取れました。美濃加茂会場では、大迫さんがサバディ准教授と華麗でダイナミックなデュオ曲＜サラサーテ：2本のヴァイオリンとピアノのためのナヴァーラ＞を披露し、可児市に芸術家が誕生したと喜ばれていたことが印象的でした。

3人の教授達については、どの会場も入魂の演奏で大きな支持を得ていました。特に恵那会場では、ファルヴァイ教授の＜リスト：スペイン狂詩曲＞が終わると、『ホー』といった感激の溜息が会場に溢れるほどでした。また、トリオの＜メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲＞では、真挚で気持ちの入った熱演に大きな拍手が送られていました。

3会場の共演者では、恵那会場での澤田さんが念願だったファルヴァイ教授との連弾＜ドビュッシー：小組曲＞を弾き、その叙情豊かな演奏から喜びが伝わってくるようでした。関会場の星野さん、山田さんの2人は、オンツァイ教

○楽友会では今後、「リストにふれた音楽家たち」～届け！ピアノ・ファルヴァイ教授と愛弟子ピアニストたちの想い～としたコンサートを準備し、復興支援コンサートを閉じたいとしています。

2. 「ぎふ・リスト音楽院マスターコース」は定着化！

マスターコースは、7月31日（日）にマスターコンサートをサラマンカホールで開催。翌、8月1日からマスターコースのレッスンが、サラマンカホール（ピアノ）、クララザール（チェロ）、大垣女子短期大学みずきホール（ヴァイオリン）の3会場で始まりました。今回は、マスターコンサートが芸術性の高いコンサートとして評価されたことと、レッス



（マスターコンサートリハーサルの様子）

ンの聴講者が多かったことが話題となりました。これは、マスコミに取り上げられたアナウンス効果が現れたためと見られています。レッスンでは、実力のある受講生が目立ったことも大きな特徴と言えました。留学選考会では9名が受験し、ヴァイオリン2名、チェロ1名、ピアノ5名の8人が合格しました。この他、昨年から目立ち始めた若手の活躍も特記できることです。マスターコース事業は、岐阜県の音楽事業として定着をし、若い音楽家の登竜門になっているようです。

3. 新大使は、セルダヘイ・イシュットヴァーン氏

これまでの駐日ハンガリー大使館のエルヌー・ボハール大使は6月に帰任され、今秋、新大使としてセルダヘイ・イシュットヴァーン氏が着任されます。セルダヘイ大使は日本赴任3回目ですが、大使としては2回目となります。奥様は日本人で、ピアニストです。このため、日本語を話し音楽に親しまれており、岐阜県との交流が、ますます強くなることが期待されます。当協会としては、早々に歓迎会を開催したいところですが、山田会長がこのところ渡航が多く多忙であることから、来年1月に新年のご挨拶をかねて大使館を訪問し、その後、岐阜にお迎えすることを考えています。

4. 修了生や留学生が、楽友会の提案に応じてリストイヤーコンサートを開催

8月24日（水）名古屋の電気文化会館 ザ・コンサートホールで野中有子さん（修了生）、久野絵美さん（留学生）、十川安里さん（留学生）、菊池玲子さん（修了生）の4人のピアニストが、リストをテーマにしてソロ、連弾、2台4手、2台8手とピアノ曲をそろえ、華麗な演奏を披露してくれました。これは、リストイヤーに併せて楽友会が企画しピアニスト達に呼びかけていたものに4人が応えたものです。コンサートでは、リスト作曲の伝説第2曲‘波の上を歩くパラオの聖フランチェスコ’、巡礼の年 第1年「スイス」第6番‘オーベルマンの谷’とソロから始まり、連弾 ハンガリー狂詩曲 第2番、2台4手 ブラームスのハイドンの主題による変奏曲、2台8手 グノー＝リスト編曲の

ファウスト・ワルツなど次々に披露されました。リストの曲は、高い技術とともに表現力を要求されることが多いのですが、それが連弾や2台4手、2台8手にもなると合わせることも大変なこととなります。それらの曲を4人のピアニストは、慎重に、しかし楽しく弾き、観客を沸かせていました。また特記すべきは、4人の個性の輝きが見られたことで、大きな可能性を感じることができました。

5. 冬からの新企画

マスターコース期間中、教授陣と多くのことを話し合い、いくつかのことについて合意を得ました。以下のことは、詳細が決まり次第連絡をいたします。

- (1) 12月中旬にサバディ准教授が岐阜県を訪問し、コンサートを開催
- (2) 来春にオンツァイ教授が岐阜県を訪問し、コンサートを開催
- (3) 来春のフレンドシップコンサート10周年を記念し、スペシャルコンサートの編成とハンガリー訪問ツアーを計画

6. 1月に総会を予定

岐阜県ハンガリー友好協会と音楽部門日本・リスト音楽院楽友会は、今年度の総会を、新春1月に開催したいと考えています。詳細は、決まり次第お知らせします。

7. ハンガリーの夕べ

岐阜県ハンガリー友好協会の主要事業のひとつ「ハンガリーの夕べ」は、2月か3月に新大使をお迎えして開催したいと考えています。会場は、可児市での開催を検討中です。詳細は、決まり次第お知らせします。